

標茶町では町内及び管内、管外の産業団体及び経済団体と連携し、魅力ある酪農畜産業の振興をめざすとともに、新たに設置した新規就農者研修施設を核として、酪農業の持つ魅力を学んでもらい、一人でも多くの研修生が就農できる体制の構築に取り組んでいる。

## 関連数値目標・KPI

	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
しべちや農楽校による新規就農戸数(戸)	4	5	80%

## 取組の推進体制

平成27年より新規就農者宿泊研修施設「しべちや農楽校(のうがっこう)」を開設。研修者用の居室等も完備された本施設で研修を実施し新規就農者の支援を行っている。



しべちや農楽校外観

## 取組事例

### しべちや農楽校を核とした担い手の育成

#### ○主な取組

少子高齢化に伴う後継者・担い手の不足を解消するため、新規就農者研修施設「しべちや農楽校」を核として酪農業の持つ魅力を学んでもらい、多くの研修生が標茶町で就農できる体制の構築を図る。

#### ○主な成果

- ・研修施設開校以来、新規就農者を輩出。令和2年度においても4戸(夫婦で計8名)新規就農している。
- ・令和2年度の長期研修者の受け入れ状況は、夫婦2組(計4名)、女性単身者1名。

#### 農楽校での研修制度概要



研修者用の居室

